

会報

No. 156号

令和4年(2022年)
4月15日発行
発行人 越川康行

シルバーだより

公益社団法人 立川市シルバー人材センター

会員数(令和4年4月1日現在)
1,449名(男1,061名 女388名)
本部事務局 柴崎町1-17-7
☎042-527-2204
錦支部 錦町6-15-20
☎042-528-8041
砂川分室 砂川町1-52-17
☎042-534-3222



令和4年度を迎えて
公益社団法人立川市シルバー人材センター 会長 越川 康行

会員の皆様には、コロナ禍にもかかわらずセンターの就業や活動にご活躍いただき、誠にありがとうございます。令和3年度は、その大半の期間が「緊急事態宣言」発出と「まん延防止等重点措置」適用となるなど、新型コロナウイルス感染症状況に多くの活動が影響を受けた1年でありました。このような状況のもと事業の維持・拡大と最終年度を迎えた第2次中期事業計画の達成に向けた取り組みをすすめるとともに、令和4年度からの新たな計画「経営5ヶ年計画」を策定しました。

引き続きコロナ禍でのセンター運営となりますが、令和4年度は「経営5ヶ年計画」のスタートの年であり、会員数と就業率の数値目標の達成と会員増強や事業拡大など諸課題の解決に向け、以下の項目を事業計画の活動計画として積極的な取り組みをすすめてまいります。

【会員増強】

入会案内パンフレットの市内全域配布や市広報への入会説明会開催日程記事の掲載などを継続するとともに、入会登録申込受付のデジタル化・簡便化や女性の入会増に向けた取り組みを強化します。また、登録会員の交流や相談に関する施策を検討し、登録継続に向けた取り組みを推進していきます。

【普及啓発】

「憩いのサロン」などの交流機会やソーシャル・メディアを活用し、センターの事業・活動の周知を進めるとともに、会員向けクラウド・サービスの導入により登録会員へのさまざまな情報提供を強化していきます。

【就業】

新規受託の確保、派遣事業の拡大など新たな就業機会の開発・開拓に取り組むとともに、女性会員の就業職種の拡大、ワークシェアリングの検討などを通じた就業率の向上、平均年齢の上昇をふまえた就業期限・就業適性評価や就業年齢の検討を行います。

【安全就業】

安全対策基本計画及び年度安全就業推進活動実施計画に基づき、安全管理推進委員会のもと、会員が健康で安全に就業できるよう健康維持・管理と安全意識の向上を目指し、基本目標の実現に向けた取り組みを推進していきます。

【研修・講習】

就業開拓・会員確保の一助として、未入会者対象の「就業体験講習」を公益財団法人東京しごと財団と共催するとともに、センターの適正な運営・信用維持のため、新入会員対象や就業会

員、役職員を対象とした研修の充実を図っていきます。

【会員の活動】

会員の責務としての地域貢献活動の趣旨の理解を促し、地域班による「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」への会員の協力拡大に取り組みとともに、地域に根ざした会員の活動を検討していきます。

また、会員互助会への支援等を通じて、会員の交流機会の拡大に努める。特に会員互助会が設立30周年を記念し実施する事業を支援していきます。

【運営基盤の強化】

センター運営の基盤となる役員体制の整備や経常収益・補助金の確保のため、必要な施策に取り組んでいきます。

最後に、今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症予防等への対応が必要であり、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、令和3年度は事故発生件数が6件と大幅な減少となり、事故防止対策に大きな成果があった年でした。例年のことではありますが、会員の皆様に「事故0」を目指した取り組みにご協力をいただきますようお願いいたします。

「経営5ヶ年計画」を策定しました

令和3年8月に「新経営計画策定部会」を設置し、計画の策定に取り組み、今年3月に理事会において「経営5ヶ年計画」を決定しました。その概要を紹介いたします。

【計画項目の概要】

1 会員増強

入会案内パンフレットの市内全域配布の継続、WEB上での入会案内・入会申込の受付、女性の入会強化策の実施などの会員増強施策、会員互助会事業や相談窓口の充実等を通じた登録継続施策に取り組みます。

2 普及啓発

「憩いのサロン」の活用、ホームページの充実、ソーシャルメディアを活用した情報発信、会員向けクラウドサービスの導入、効果的な広告媒体の活用、会報「シルバーだより」の内容充実と広報活動への活用などに取り組みます。

3 就業

派遣事業の拡大など就業開拓・開発、会員の就業希望や人材データの把握、ワークシェアリングなど就業形態の見直しの検討による就業率の向上、就業期限・就業適性評価・就業年齢の検討、その他就業に関する調査研究・情報収集に取り組みます。

4 安全就業

安全就業強調月間などの一層の充実、事故分析・危険予知、研修会・講習会の開催、安全就業基準に基づく安全啓発等を通じた事故防止対策、会員の健康管理に取り組みます。

5 研修・講習

新入会員対象には研修会の充実、総合相談窓口の活用、就業会員対象には意識啓発を目的とした研修会の開催、役員対象では外部研修への参加と他センターの視察など内部研修の実施に取り組みます。

6 会員の活動

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」への協力拡大など地域貢献、会員の新たな交流機会の検討など会員交流に取り組みます。

7 運営基盤の強化

役員と職群班長・地域班長の連携の強化、事務の効率化の検討、適正な役員体制の整備、インボイス制度への対応、経常収益・補助金の安定確保に取り組みます。

【計画達成に向けて】

計画の達成のためには、着実な進行管理が必要なことから、年度

ごとに具体的な取り組みや施策を進めていくなか、理事会において適切なPDCAサイクルによる検証を行い、改善と見直しを検討していきます。

※ 計画の詳細は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

会員増強にご協力を!!

センターでは会員数の減少が続いております。経営5ヶ年計画では会員数の目標を令和8年度には1,700名としており、現在の会員数からでは毎年50名以上の会員増が必要となっています。

今後、会員増強の取り組みを積極的に進めていく予定ですが、会員の皆様にも是非とも会員増強にご協力をお願いいたします。

5月には、入会案内パンフレットの市内全域配布などを実施し、入会説明会も他の月より多く開催する予定です。

ご近所・お知り合いの方で、シルバー人材センターの事業や活動に興味をお持ちの方に、是非一度入会説明会への出席をお勧めください。

よろしくお願いたします。

令和4年度 事業計画・予算の概要

【事業計画】

「会員増強」、「普及啓発」、「就業(就業開拓・開発と就業率の向上)」、「安全就業」、「研修・講習」、「会員の活動(地域貢献活動への協力拡大と会員の交流機会の拡大検討)」、「運営基盤の強化」の7項目を活動目標とし、それぞれの活動計画を策定しましたので、その概要をお知らせします。

① 会員増強

- 入会案内パンフレット等の市内全域配布の継続
- WEB上での入会案内の実施と入会申込の受付実施
- 女性の入会強化策の実施
- 会員の口コミの活用
- 会員互助会との連携を通じた会員交流の強化
- 高齢会員・未就業会員への相談窓口の充実 など

② 普及啓発

- 「憩いのサロン」の活用を通じたセンター事業・活動の周知
- ホームページの充実
- ソーシャル・メディアを活用した情報提供
- 行政・関係機関・他センターとの連携等による効果的な広告媒体の活用、各種イベントへの

の参加を通じた宣伝活動の実施 など

③ 就業(就業開拓・開発と就業率の向上)

- 会員のニーズ、年齢等の状況に合わせた就業機会の開拓提供
- 女性会員の就業職種の拡大
- 派遣事業の拡大
- 新規事業や欠員補充に対応できる組織づくりの検討
- 総合相談窓口や未就業会員現況調査等による就業希望等の的確な把握
- 会員の経験やスキルの把握による就業提供並びに就業開拓・開発のための人材データの充実

就業希望者への提供拡大を目指す

指したワークシェアリングなど就業形態の見直しの検討を通じた就業率の向上

平均年齢の上昇、会員数や年齢分布の状況に基づく就業期限・就業適性評価・就業年齢の検討など

④ 安全就業

- 基本目標
- ◆ 事故ゼロを目指す
- ◆ 安全就業への全員参加
- ◆ 安全就業基準、作業別安全就業基準の遵守・徹底

○ 安全対策基本計画に基づく安全管理推進委員会の体制・活動内容、安全就業強調月間など施策の一層の充実

○ 事故現場の確認や事故原因の調査・分析の事故事例の活用、職群班・職場ごとの危険予知を通じた事故防止対策の立案及び実施

○ 交通安全や転倒防止など事故防止啓発、AED操作など危機対応のための研修会・講習会の定期的な開催

○ 安全就業・事故防止のため、定期的な健康診断の受診奨励など会員の健康管理、転倒予防講習等を通じた体力維持などへの取り組みの充実 など

○ 新入研修会の充実

○ 就業に対する責任感、接遇などの意識啓発を目的とした研修会の定期的な開催

○ 適正な就業維持を目的とする職群班単位の会議・研修を通じた発注者への対応等の確認

○ 就業職種拡大のための講習受講促進、人材の確保・育成促進を目的とした就業体験講習の開催 など

○ 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」への会員

の協力拡大

○ 「地域共生」や「支え合い」、「居場所づくり」に寄与する活動の検討・実施

○ 会員互助会の同好会等を活用した会員交流の機会拡大の検討

○ 会員互助会設立30周年を記念して実施する事業の支援 など

○ 役員と職群班長・地域班長の連携の強化

○ 事務の効率化の検討

○ 適正な役員体制の整備

○ インボイス制度への的確な対応など経常収益・補助金の確保に基づく財政の安定 など

【収支予算】

今年度は、契約金額の目標を8億9,365万円とし、その他の収入としては会費・補助金などで公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計の収益は約9億6,556万円、費用としては事業の維持・拡大、普及啓発、会員増強、諸会議開催、運営、事務局業務、職員人件費等を計上し、公益目的事業会計が約8億7,919万円、収益事業会計が8,207万円、法人の運営会計が約395万円の合計約9億6,521万円となり、税引き後の年度の収支差額は約20万円の増となると想定しております。

(5) 今年度もひとりひとりが「事故0」に取り組みましょう！

令和4年度安全標語決定

令和4年度の安全標語が安全管理推進委員会の選考により決定しました。
なお、最優秀・優秀・佳作の6作品については、6月開催の定時総会において表彰が行われます。

最優秀作品

思いやる

心のゆとりで事故は無し

矢口 周一 会員

優秀作品

慣れるほど

基本を見直す習慣を

水本 博文 会員

飛び出すな

交差点と曲がり角

近藤 健助 会員

佳作

無理するな

自分の年齢 考えて

権澤 宏 会員

急がない

時間にゆとり事故防ぐ

内野 富雄 会員

思い込み

確認不足が事故のもと

池本 実 会員

計報 (敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

紫崎町地区班	中村 恭之
羽衣町第2班	坂本 和平
曙町第2班	小林 金次郎
栄町第3班	廣田 茂
若葉町第1班	安西 一夫
柏町・泉町第1班	大久保 公男
砂川町第1班	稲川 ヨシ
砂川町第4班	三好 克彦
上砂町地区班	浜部 寛
一番町・西砂町第2班	高野 担
	水川 次訓
	鳥津 重之

お知らせコーナー

令和4年定時総会開催のご案内

令和4年定時総会を左記のとおり予定しています。なお、都内の新型コロナウイルス感染症状況によっては、会場を変更するため、開催日も変更する場合があります。

記

日時 令和4年6月24日(金) 午後1時
場所 たましんRISURU ホール(立川市民会館)
※ 詳細は追ってご連絡いたします。

健康チェック表で

自己チェックを!!

今年度も、就業確認書交付時に、「健康診断についてお知らせ」を同封しています。しっかりと健康管理は、皆さんに元気で就業していただく基本です。ご自身の健康状態を自覚するため、お送りした書類に記載している「健康チェック表」で是非自己チェックをしていただき、必要があれば健康診断や医師の診察を受けるようにしてください。

総合相談窓口からのお知らせ

総合相談窓口では、会員の皆様からの就業などいろいろな相談に応じる「総合相談日」を毎月1回開設しています。日程は左記のとおりです。相談希望の方は、事前にご予約ください。なお、5月及び7月には、砂川分室でも開催しています。

記

5月11日、6月8日、7月13日
いずれも水曜日、午前9時30分から午前11時30分まで。
相談時間は30分。
相談申込先 本部事務局総務係
527-2204

配分金振込日の予定

これからの配分金の振込日は次のとおりです。

3月分	4月20日(水)
4月分	5月20日(金)
5月分	6月20日(月)
6月分	7月20日(水)

編集後記

令和4年度がスタートしました。



オミクロン株による感染拡大では、会員の感染や濃厚接触者該当の報告が相次ぎ、職場の中にはローテーションの調整にご苦労いただきました。

今号の記事にもありますとおり、今年度は「経営5ヶ年計画」スタートの年です。会員増強、事業の拡大、デジタル化など取り組みなければならぬ課題が山積しています。

事務局でも、課題の解決に取り組みながら、会員の皆様への情報発信もさらに充実してまいります。会員の皆様にも引き続きご協力をお願いいたします。(事務局)